

電気火災



↑動画公開↑

電気火災とは…？

電気や電気製品に関わる火災のことをいいます。

電気火災の種類

- ①電気のエネルギーが変換して発生した熱が、発火源となって発生する
- ②故障や使用者の**使用方法不適**が要因となって発生する

電気火災を起こさないためには？

電化製品を正しく使いましょう！

例えば電子レンジでレトルト食品を加熱する際は「商品パッケージ」に記載されている表示を確認し、使用する



火災を防ぐために

- ・プラグはコンセントにしっかりと差し込む
- ・コンセント周りは定期的に点検・清掃する
- ・電源タップは決められた容量内で使用する
- ・束ねての使用、コードの踏み付けはしない



電気火災の原因 (例)



プラグの差し込み不十分から火災に

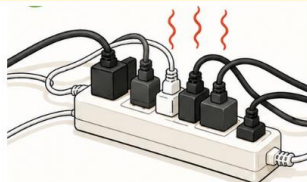
プラグの差し込み不十分にならないようにしっかりと差し込むようにクセ付けるようにする



プラグの差し込み周りにほこりがたまり、火災に

トラッキング

コンセントに差ししたままのプラグにたまったほこりが湿気を帯びることで電気が流れ一部が炭化、さらに使用を続けることで出火する



電源タップの容量以上使用すると負荷がかり、火災に

過負荷



1,000W

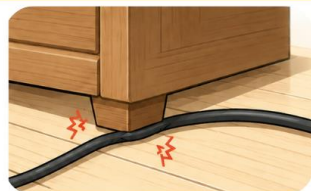


+700W=1,700W

電源タップ使用容量をこえる



使用容量
1,500W



コードの踏み付けからコードが破損し、火災に

半断線・ショート

コードを踏んだり、繰り返し曲げたりすると内部で断線がおこり、発熱・発火する